

北海道白老東高等学校

課程 全日制
学科 普通科
生徒数 336名

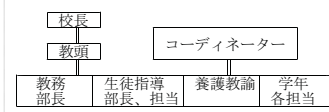
1 取組の特徴

コミュニケーションスキル育成のトレーニング（集団カウンセリング）を実施することにより生徒にコミュニケーションスキルを身に付けさせ、望ましい人間関係形成能力を培うとともにHyper-QUテストによりその成果を検証する。

2 取組のねらい

- ・集団カウンセリングを通して、生徒に人間関係を形成する力やコミュニケーションスキルを身に付けさせる。
- ・学校不適應の防止を図る。
- ・教員の予防的・開発的教育相談に対する理解の深化を図る。

<組織図>



3 取組の経過

- 【5月】
 - ・「学級適応検査」の実施（1年）
- 【7月】
 - ・ブレインストーミング、ロールプレイング（1年保健の授業）
- 【10、11月】
 - ・ボランティア活動（清掃活動）（野球部、サッカー部、保健委員会）

- 【1月】
 - ・集団カウンセリングを取り入れた体験学習（1回目）（1・2年）
 - ・教職員校内研修（講師により実施）
- 【3月】
 - ・集団カウンセリングを取り入れた体験学習（2回目）（1・2年）
 - ・教職員校内研修（講師により実施）

4 取組の内容

- 1 発表活動（ブレインストーミング、ロールプレイング・7月実施・1年保健の授業）
- ア ねらい ブレインストーミング、ロールプレイングを通して、上手な断り方を考える。
- イ 内容 薬物使用を勧められるケーススタディで上手な断り方についてブレインストーミングでアイデアを出し合い、最後は代表者によるロールプレイングを行った。
- ウ 成果 積極的な意見を出し合い、楽しい雰囲気の中、意欲的な学習態度が見られた。
- エ 課題 エクササイズの説明や生徒主体が主体的に活動する時間を増やすための工夫が必要である。

- 2 ボランティア活動（町内清掃活動・10、11月実施・野球部、サッカー部、保健委員会）

- ア ねらい 日ごろの感謝の気持ちを態度で表すとともに、清掃活動を通して町民との交流を促進し、コミュニケーション能力や自己有用感の向上及び豊かな心の育成を図る。
- イ 内容 通学路のゴミ拾い及び町民との挨拶の励行
- ウ 成果 感謝されることで充実感及び自己有用感を味わうことができた。
- エ 課題 事前及び事後の指導内容等を感じ込んだ年間計画を作成するとともに参加団体の拡大及び活動回数の増加を図り、町内関係団体との連携と広報活動の充実を図る必要がある。



- 3 コミュニケーショントレーニング（集団カウンセリング・1、3月実施、1、2学年）

- ア ねらい 集団カウンセリングを取り入れた体験学習
- イ 内容 うしうまじゅんけん、パスデライン、隣の隣等
- ウ 成果 生徒にコミュニケーションの大切さを理解させることができた。
- エ 課題 日常の学校生活や行事等においてコミュニケーション能力を育成する場をさらに増やす必要がある。



- 4 校内研修（教員研修・1月実施）

- ア ねらい 集団カウンセリングを学び、目的、内容、方法等について理解を深める。
- イ 内容 1・2年生で行ったエンカウンターについて、担任団の感想を中心にカウンセリングについて研修を行う。
- ウ 成果 構成的グループエンカウンター（触れ合い体験の心地よさ）について理解を深めることができた。
- エ 課題 生徒の演習を見ていない教員はカウンセリングの方法等の理解が難しかった。

5 次年度に向けて

- 1 成果

- ア 学級適応検査等の結果
- ① ソーシャルスキル「配慮」「かかわり」とも全国平均を上回っている。

	学年平均	全国平均
配慮	35.0	33.1
かかわり	30.7	29.4

- ② 学校生活意欲プロフィール いずれも全国より意欲度が高い。

	学年	全国
友人との関係	17.4	16.6
学習意欲	13.7	12.5
教師との関係	13.4	12.3
学級との関係	15.2	13.6
進路意識	14.3	14.2
総 合	73.9	69.2

- イ その他の指標による評価
非行事故による特別指導の減少（平成22年度17件→平成23年度8件）
- ウ 生徒の変容した姿
集団カウンセリング実施後コミュニケーションの大切さを認識し、コミュニケーションをとろうとする態度、友人を理解しようとする努力が見受けられた。

- 2 課題

- ア 教員の集団カウンセリングの指導力の一層の向上
- イ 学級環境適応調査結果のより効果的な活用
- ウ コミュニケーション能力育成の継続的指導

- 3 次年度に向けて

- ア 集団カウンセリングに関する教職員研修の実施
- イ 学校環境適応調査結果を利用したケーススタディ及びクラス経営への活用
- ウ 各学年、分掌、教科によるコミュニケーション能力向上の工夫・改善
- エ ボランティア活動等、学校外での活動の充実